

鶴岡高専 創造工学科

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

- ▶ 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
- ▶ 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
- ▶ 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
- ▶ 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

カリキュラム・ポリシー

- ▶ ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

1) 各コースにおける工学の基礎科目

機械コース：機械力学，材料力学，流体力学，熱力学を基盤とした基礎専門科目

電気・電子コース：電気磁気学、電子工学、電気電子回路を基盤とした基礎専門科目

情報コース：数学、物理、プログラミング言語、データ構造を基盤とした基礎専門科目

化学・生物コース：数学、化学、物理、生物を基盤とした基礎専門科目

2) エンジニアリングデザイン能力習得に関する科目

機械コース：機械設計製図，機械工学実験・実習，生産工学を主とする実技科目

電気・電子コース：演習、実験・実習、情報処理を主とする実技科目

情報コース：総合工学Ⅰ～Ⅳ、工学実験・実習Ⅱ～Ⅴを主とする実技科目

化学・生物コース：総合工学Ⅱ、総合工学Ⅲ、総合工学Ⅳ、物質化学実験、工学実験実習Ⅰ～Ⅳを主とする実技科目

3) グローバルエンジニア育成のためのコミュニケーション力習得に関わる科目

アドバンステクノロジー、生産工学

4) 融合複合によるイノベーション人材の育成と起業家精神の涵養に関わる科目

総合工学Ⅰ、総合工学Ⅱ、総合工学Ⅲ、総合工学Ⅳ、Advanced Technology

5) 専門知識の定着と活用力を涵養させるため、全科目で学習プロセス重視の「学習者中心の授業」アクティブラーニング（グループワーク、ティーチング等）に関わる科目

卒業研究

授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評価は各期（1～3年：前期中間・前期末・後期中間・学年末、4・5年：前期末・学年末）ごとに総合して評価します。各期の評価は授業科目ごとに定められているシラバスの内容に基づき試験、小テスト、レポート、態度等を総合評価します。

第1学年から第3学年

評語	優	良	可	不可
評価点	100～80	79～60	59～50	49以下

第4学年及び第5学年

評語	優	良	可	不可
評価点	100～80	79～70	69～60	59以下

ディプロマ・ポリシー

- 融合複合分野に対応したデザイン能力、課題発見力、課題解決力を有し、グローバルに活躍できるリーダー技術者、研究者を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に着け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。
- 修得する能力
 - ・ 選択したコースにおける専門分野を深く理解し、自己の専門分野以外の幅広い知識と技術を活用した課題発見、課題解決能力。
 - ・ 課題の本質を理解、解析できる論理的思考能力。
 - ・ 他者と協働し、主体的に新しい発想で課題に立ち向かうことのできる能力。
 - ・ 自己の工学的な考えを、日本語と英語を用いて表現し、議論を展開できるコミュニケーション能力。